

家計調査にみる貯蓄・負債現在高 平成19年平均

平成12年まで家計調査の附帯調査として貯蓄動向調査を毎年12月現在で世帯の貯蓄及び負債現在高に関して調査していましたが、近年貯蓄の水準が高まり、貯蓄が収支に与える影響が大きくなってきたため、世帯の収支との関係を分析することを目的に平成14年1月から貯蓄・負債現在高についても家計調査の中で調査を実施しています。

高知市の結果（二人以上の世帯）

高知市の調査結果は、二人以上の世帯88世帯について集計され、平均世帯人員2.98人、平均有業人員1.35人、世帯主の平均年齢53.9歳、持家率71.1%となっています。

(1) 平均貯蓄現在高は1252万円

平成19年平均における1世帯当たりの貯蓄現在高は1,252万円となっています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が474万円（貯蓄現在高に占める割合37.9%）と最も多く、次いで生命保険など373万円（同29.8%）、有価証券225万円（同18.0%）、通貨性預貯金174万円（同13.9%）、金融機関外6万円（同0.5%）となっています。

年間収入は584万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、214.4%となり、貯蓄現在高は年間収入の約2.1倍となっています。

表1 平均貯蓄現在高

	貯蓄現在高（万円）						年間収入 （万円）b	貯蓄年収比（%） a/b
	a	通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	金融機関外		
高知市	1,252	174	474	373	225	6	584	214.4
全国平均	1,719	292	707	412	269	40	649	264.9

(2) 平均負債現在高は439万円

平成19年平均における1世帯当たりの負債現在高は439万円となっています。

負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が369万円（負債現在高に占める割合84.1%）と最も多くなっています。

表2 平均負債現在高

	負債現在高（万円）				負債現在高に占める住宅・土地のための負債割合（%） b/a	年間収入 （万円） c	負債年収比（%）	
	a	住宅・土地のための負債	住宅・土地以外の負債	月賦・年賦			負債現在高	
		b					a/c	住宅・土地のための負債 b/c
高知市	439	369	48	22	84.1	584	75.2	63.2
全国平均	505	448	44	13	88.7	649	77.8	69.0